

海外へ渡航される方へ

外国への入国時に

「黄熱」の予防接種の国際証明書



が必要な場合があります

接種は早めに！余裕を持って事前予約しましょう

特に、アフリカや中南米への渡航や乗り継ぎを含めて複数の国に渡航する場合、黄熱の予防接種が必要かどうか事前に確認しましょう。黄熱の予防接種は事前予約が必要です。渡航数か月前から計画的な準備が必要な場合もあるため、注意しましょう。

「黄熱」は、どんな病気？

「黄熱」は、ウイルスを持った蚊に刺されることで感染します。

発症すると、発熱、寒気、頭痛、吐き気などの症状を伴い、場合によつては死に至ることもあります。

主な流行地

特にアフリカや中南米で流行しています。

国際証明書はいつ提示する？

入国手続きや査証取得の際に求められる場合があります。流行地以外にも国際証明書を求められる国がありますので、厚生労働省のホームページや大使館でご確認ください。

「黄熱」の予防接種実施機関・詳細はこちら

黄熱の予防接種証明書は、1回の接種で生涯有効です



(黄熱に注意しましょう！)

よくある質問

Q1. どこで接種すればよいですか？

A1. 黄熱の予防接種は、国が指定した機関のみで実施しています。(※)

事前予約制で、予約数には限りがあるため、早めに予約しましょう。
特に年末年始、大型連休、夏休みの前などは混み合います。



Q2. いつ頃接種するのがよいでしょうか？

A2. 黄熱を含め、渡航先に応じて推奨される複数のワクチンを接種する際には、間隔をあけて複数回の接種が必要な場合もあるなど、準備には数か月を要する場合もあります。そのため、余裕を持って、計画的に接種を行うことが大切です。

※ 黄熱予防接種は有料です。料金は接種機関により異なります。

渡航する地域や渡航先での活動内容によっては、黄熱以外にも、A型肝炎、B型肝炎、破傷風、狂犬病等の予防接種もご検討ください。

